

一般社団法人 埼玉私保連



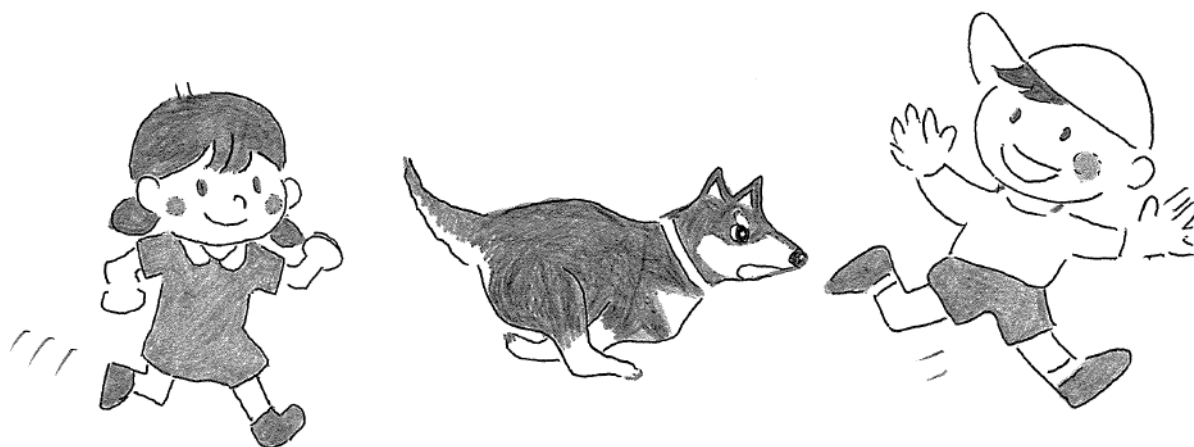
# 広報

No.160

R7.3月

発行

## さあ行こう きょうそうだ



埼玉私保連50周年記念講演

「さかなクン」トークショー

他

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

「埼玉私保連50周年記念講演」

# 「さかなクン」トークショー

テーマ：ギョギョッとびっくりお魚教室

日時 2025年1月11日(土) 14時

場所 ウエスト川越多目的ホール

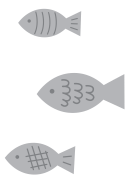
当日は保育士さん・園長さん・理事長さんから保育関係者、さらには多くの親子連れが会場を埋め、さかなクンの登場を待ちました。そしてさかなクンが元気よく登場すると万雷の拍手と歓声がおこり、彼の人気ぶりがうかがえました。

講演ではさかなクンの魚愛が存分に語られました。特に幼少期から魚介に興味津々だった彼にタコ（彼はタコちゃんと呼びます。そう、どの魚にもちゃんづけなのです）を丸ごと買い与えたお母さんの話は圧巻でした。その話をホワイトボードに絵を描きながら楽しそうにするんです。さかなクンの個性を認めたお母さんの子育てにも感心させられました。また熊谷市・元荒川にいる絶滅危惧種のムサシトミヨというメダカの生息を取り上げ地元・身近な自然に目を向けさせてくれました。さらにプラスチックごみによる海洋汚染・魚への影響を分かりやす

くお話してくれ、海や川など魚を取り巻く環境保護を強く訴えました。すべてはさかなクンの魚への愛です。

最大の圧巻は、会場の子ども達からその場でリクエストされた魚をいともたやすく絵に仕上げる技術でした。ゲーム形式で制限時間内にリクエストの魚を次々描き上げると、会場は大盛り上がりを見せました。こうした技術や知識はさかなクンの研究者としての顔です。

こんなにも魚を愛し、魚を熱く語るさかなクン。われわれ保育者が子ども達に向けてるまなざしと同じです。愛こそはすべてのことを認識させられ、会場が暖かな気持ちにつつまれる。彼の人柄と共に50周年記念に相応しい講演会だったと思えました。



(広報部)



(3)



埼玉私保連

## 伊藤岳参議院議員との意見交換報告

## 『地域区分』と『1歳児の職員配置』について

日時 2025年1月15日(水) 場所 三郷ひだまり保育園

昨年12月の国への陳情行動で訪問した伊藤岳参議院議員から、地域区分の現状課題等を現場から直接聴きたいと連絡があり、1月15日(水)午後の時間に三郷ひだまり保育園にて意見交換会が行われました。伊藤岳参議院議員のほか、伊藤はつみ埼玉県議会議員、深川ともか三郷市議会議員、県議団事務局など合せて7名に、当連盟からは9名が出席して、地域区分の見直しと1歳児の配置基準加算要件などについて、保育現場の切実な意見を伝えました。

## 『地域区分』について

○令和7年度は地域区分の見直しを実施しないこととなり安堵する一方で、「その他」地域がそのままであることは園運営に

とって死活問題である。少子化加速で北部地区の園は定員減してもなお定員割れの状況が続いており、経営難から閉園するところも出ている。首都圏の「その他」地域であることは、最低賃金が県一律のなか賃金改善も相当厳しく、最低賃金が一律なら地域区分も連動してほしい、最低賃金上昇分の賃金補填など何もない中で修繕費や施設整備のための積立金を取り崩しながら何とかやっているが限界に近い。「その他」の地域区分は無くしてほしいという要望があった。

○地域区分格差による委託費格差は、保育条件、職員処遇、児童処遇の格差に直結している。現行でも東京・千葉の隣接地域への人材流出は顕著で

あり、どの地域でも等しく保育条件を保障されるために地域区分のあり方を見直してほしい。国が是正できない場合は県が補填して格差是正に取り組んでもらいたい。

## 『1歳児の職員配置』について

○1歳児の配置最低基準は改定されずに5:1の改善加算の措置となり、現場が求めていた全国一律の最低基準改善とは程遠い内容である。5:1の加算要件に①「ICTの活用」登降園管理が必須条件となっている。ICT導入の一部費用は補助があってもその後のメンテナンス・維持費などが掛かることから導入していない園もある。1歳児の保育を手厚くすることと登降園管理をICT化することにどんな関連があるのか。さらに②平均経験年数が10年以上、③処遇改善等加算ⅠⅡⅢのすべてを取得などの要件が加わったことには多くの疑問が寄せられた。伊藤議員秘書からも質問があり、制度の欠陥点を共有する意見交換となった。

令和7年度をもって廃止の単の障害児保育事業についても県や国への厳しい働きかけ、市町村への補填要望などの言葉を議員からいただき、有意義な意見交換会は終了しました。

(1月17日発行 予対速報記事より抜粋)



令和6年度全国私立保育研究大会 栃木大会

## 「保育功労賞」埼玉県被表彰者の方

### 『保育功労賞を受賞して』

戸田市 きざわ保育園園長 高橋恭子



誠に僭越ながら、この度「保育功労賞」を受賞させて頂きました。保育者として年月ばかりはそれなりに経過して、名ばかりの園長職にも就いてはおりますが、いまだ受賞に値するような功績など何ひとつ残せておらず、辞退すべきと心に決めていましたの

で大変恐縮しております。そのような自覚をしながらも保育に身を投じてこられたのは、私保連などの諸先輩の先生方からの沢山の教え、職場の仲間と子どもたち、保護者、関係者など、多くの皆様に支えてきて頂いたからこそであり、改めて深く感謝を申し上げます。

思えば、笑っても泣いても怒っても丸ごと愛おしい子ども像を抱き、軽率に足をつっ込んだ保育という営みは多岐にわたる専門知識、技術を要する底なし沼のような奥深い世界でした。子どもの育つ姿には魅了されるばかりですが、一方で、子育ての社会環

境の劣悪化、そして知るほどに保育制度の不備や課題の多さを実感しています。自身の勉強不足、力量不足ゆえの無力さをまざまざと思い知らされることもしばしば。そんな時ふと心に過る「知を力に」「一を聞いて十を知る」座右の銘です。必然的に学びの機会を求めて、子どもや職員や保護者と深刻な困りごとを共有のときも、徹夜を余儀なくされる煩雑な行政書類の締め切りに追われている時も、保育制度の改善や関連予算要望が行政担当にちつとも届かない叶わない事が続いても、あらゆる場面を学びの

機会と捉えて、今なお自己研鑽の現在進行中の身です。これからも皆様から教えを賜り、やっぱり丸ごと愛おしい目の前の子どもたちから力を授かり、職業としては悪条件ながら日々奮闘してやまない保育実践者である職員の仲間たちや保護者とともに、常に育ちあい・育てて頂いている感謝を胸に、より豊かな保育の実践と、そのために今より少しでも良い保育制度の実現をめざして、微力ながらも学び、歩み続けていかなければと思っております。



新連載

# 子ども好き一茶

俳人として名高い「小林一茶」の子ども好きな一面を彼の俳句と共に紹介するコラムです。(不定期掲載)

其の参

## 正月の

### 子どもになりて

### 見たき哉

(一茶)

雪に閉ざされる信濃の冬、子ども達は来る日も来る日もじつと春を待っていた。旧暦の正月は、現在の2月初めで名ばかりは春だが、まだ寒さ厳しい冬のさなか。それでも正月は、そのすぐ先の春の訪れを予告する、大人にとっても待ちわびていた行事だ。

当時の子どもは、今の子どものように毎日ゲームに熱中し、おいしいものが食べられた訳ではない。だから大人たちは貧しい日常を埋め合わせるかのように、子どもに玩具を買い与え、普段は食べたこともない正月料理をご馳走した。

子どもはこの時とばかり、独楽・羽根つき・手毬・福笑い・歌留多・双六などで日をつぶした。親たちも今日ばかりはお屠蘇気分です、うるさいことも言わず笑顔で遊び呆ける子どもを眺めていた。

ほかに「とし玉を あたまにおくや 小さい子」の句もある。

(J・K)

其の肆

## 子ども等が

### 團十郎だんじゅうろうする

### 団扇うちわかな

(一茶)

子どもは「かっこいいもの」に憧れる。現代の子どもなら「ウルトラマン」や「仮面ライダー」といったところか。のびのびとした夢の世界に羽ばたくことが子どもの心を成長させるのだろう。

寛政文化の時代、歌舞伎役者の第一人者は五代目市川團十郎であった。幕府が歌舞伎芝居を庶民の贅沢として弾圧を強める中、歌舞伎芝居はそれに抵抗する民衆に人気を博し浸透していったのだろう。

おとなの話聞いて、子どもまでが團十郎が大見得を切る場面を団扇をかざして再現している。それはテレビにとりつかれ「へんしゅん」となえてジェスチャーで見得を切る現代つ子とそっくり。それをほほえましく見つめる現代人一茶がいる。

この頃の一茶は、まだ江戸へ出て俳諧師として生計を立てていくことなど思いもよらず、農村からの逃亡者や零落した市井の人々と江戸本所界隈でひっそりと、裏長屋住まいの俳諧修行であった。

(J・K)

## 其の伍

逃げるなり

紙魚しみの中にも

親よ子よ

(一茶)



紙魚は衣服・紙など糊気のあるものを食害する昆虫。たんすの引出などを開けると蜘蛛の子を散らすように逃げて隠れてしまふ。そんな原始的な虫けらの中にも親子があつて、火急の出来事の中、親と子は声を掛け合つて避難している。小さな動物や昆虫にまでも愛情を注いだいかにも一茶らしい句である。

しかし本人は子ども運に恵まれず、五十歳過ぎてもうけた子どもには次々に夭折され、結局六十二歳の時、妻の胎内の子宝の出産を心待ちしながら、その子の顔を見ることなく病で世を去った。

一茶の小さな生き物へむけた句は他に  
やれ打つな 蠅が手をする 足をする  
やせ蛙負けるな 一茶これにあり  
雀の子 そのけそこのけ お馬が通る

(J・K)



事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟  
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F  
TEL 048(772)8623 FAX 048(772)8635

# 【全私保連推奨】各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人  
全国私立保育連盟



東京海上日動

## ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育園向け 4月1日～1年間 (中途加入可能)

「園賠償責任保険 (新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯)」  
「園児団体傷害保険 (学校契約団体傷害保険)」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

## やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

## えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

## しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web  
加入  
可能

24時間のおケガ等からお守りにすることに加え、自転車条例で義務化されている個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱  
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881  
FAX : 03-3865-2806



引受  
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このチラシは、この案内が適用される責任保険・生徒賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険・レピュテーション費用特約契約付帯 費用・利益保険・雇用関連賠償責任保険の概要・園児総合生活保険 (傷害保険) の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険を個別のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約書である公益社団法人全国私立保育連盟が管理する保険契約書となりますが、ご不明な点がございましたら、取扱代理店または有限会社ゼンポまでお問い合わせください。



公益社団法人全国私立保育連盟指定 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881  
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-1-10 全国保育会館4階

### 子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

#### 全国私立保育連盟推奨 (総代理店)

導入費用  
無料

# キッズノート

「キッズノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の  
業務  
省力化

子どもの  
学び・育ちの  
見える化

緊急時の  
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

## 利用料無料!

契約更新後も料金そのまま!

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格に  
なりました!

ひと月あたり **5,000**円 (税別)

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金が変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>